

阿武山合宿ゼミ第5回

- ・ 日時 10月27日(土)
- ・ 場所 防災研究所 阿武山観測所 大阪府高槻市奈佐原 944
- ・ テーマ 内陸地震の発生メカニズム
- ・ 参加資格 大学教養程度の数学・物理の素養のある人が望ましい。
- ・ 世話人 阿武山観測所関係 教員・院生有志 (責任者 飯尾能久)
- ・ 参加費 懇親会での食費を徴収予定

○趣旨説明

今回のテーマは「内陸地震の発生メカニズム」です。「内陸地震はなぜ起こるのか？」(近未来社出版)を教材にして内陸地震発生に関する問題点、下部地殻の役割、発生過程に関するモデルについて議論しようと思います。対象とする方は大学教養程度の物理・数学の素養を持っている方になりますので、地震学を専門に学んでいない方の参加も歓迎します。

構成としましては前回同様、専門分野の知識の無い人でも議論することが出来るように、最初の学生同士のゼミ(時間の制約上、3コマ行います)で最低限必要な知識について勉強し、その後、教員の方も含めて議論を行う形になります。

参加して下さる方をお願いしたいことは基本に立ち戻って、それぞれ自分の頭で一から考えることです。その際、事実と思ってよい部分とその先の推論部分を分けて考えることが重要だと思います。

○現時点でのプログラム案

使用教材 「内陸地震はなぜ起こるのか？」(近未来社出版)

10月27日(土)

10:00～10:30 趣旨説明

10:30～12:00 セミナー1 内陸地震発生についての問題点

12:00～13:00 昼食 休憩

13:00～14:30 セミナー2 内陸地震発生メカニズムについての考察(下部地殻の役割について)

14:45～16:15 セミナー3 内陸地震発生メカニズムの定量的なモデル化

16:30～18:00 セミナー4 教員の方を含めての議論

18:30～ 懇親会

合宿ゼミですが日帰りも可能です(宿泊される方は以下のアクセス、宿泊についての項を参照してください)。

セミナー1、内陸地震発生についての問題点: 内陸地震の発生間隔、応力の蓄積、発生場所

についての問題点について勉強します。本の一～三章の内容に相当します。引用文献が各章ごとにまとめられていますが Iio and Kobayashi (2002), Zoback(1992)あたりが参考になると思います。

セミナー2、内陸地震発生メカニズムについての考察(下部地殻の役割について): 内陸地震発生メカニズムに深く関与すると考えられる下部地殻の強度やゆっくりすべりについて勉強します。本の第四～五章の内容に相当します。論文は巻末の Iio et al., (2002)が参考になると思います。

セミナー3、粘弾性を導入した内陸地震の発生メカニズムのモデルについて勉強します。Iio et al., 2004(a),2004(b)、Kenner and Segall 2000 も参考するといいと思います。

～以上の三つのゼミのレポーターは大学院生が担当します。各セミナーで上記のように参考論文も紹介していますが、基本的には教科書の内容をまとめて、足りない部分を論文で補う形にすればいいと思います。

アクセス、宿泊など

阿武山観測所HP参照 JR 摂津富田駅からバスと徒歩で40分程度。

<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/~abuyama/>

電話：072-6-94-8848, 8849

風呂・シャワー、畳の部屋(大小合わせて8部屋あり)、ふとん等あり(数に限りあり)。
ただし、タオル、パジャマなどは、用意しておりませんので、各個人でご用意ください。
昼食は各自準備して下さい。

夕食を準備します。飲み物等も準備します。食材の実費を徴収予定です。

注意：畳の部屋にはエアコンはありません。山の中なので虫が出るかも知れません。

各個人で対策をよろしくお願い致します。

また貴重品は必ず身につけて、各個人で管理をお願いいたします。

申し込みシート

< 必須項目 >

- ・氏名
- ・所属、身分
- ・メールアドレス
- ・電話番号(できれば携帯電話番号)
- ・宿泊 (する・しない)

< その他 >

- ・その他 希望等ありましたら、ご記入下さい。

申込・問い合わせ先と締め切り

地震予知研究センター 千葉・青木・岸本・飯尾

abuyama_dpri@dpri.kyoto-u.ac.jp

準備が必要です，10月20日までに申し込み下さい．

ふとんの数に限りががありますので，宿泊者数は，予定人数に達したら締め切りさせていただきます．